

ブラジルの日系社会から3名の研修員が、それぞれ情報工学、メディア情報学、環境土木工学を学ぶためにやってきました！

国際協力機構(JICA)北陸センターは、金沢工業大学と協力し、10月21日までの約5ヶ月、ブラジルの日系社会から3名の研修員を招聘し、「IoT(Internet of Things)」、「情報技術と教育テクノロジー」、「防災と観光を考慮した都市開発」の3コースの研修を実施します。

ブラジルからの研修員3名は5月12日に来日、JICA横浜(横浜市)で日本や日本語に関する1週間のオリエンテーションを受けた後、金沢に移動し、21日から技術研修を開始します。

それぞれの研修員は、自国では企業で、技術者として経験を持つ方々で金沢工業大学ではそれぞれのテーマを持って、指導教官の下、研究を進めてまいります。

研修期間中は金沢市内の一般のアパートに滞在して、生活します。技術的な研修だけでなく、日本の生活・文化についての理解を深める事も日系社会研修では重要なテーマとなっています。

【開講式】

日時：2019年5月21日(火) 09時00分～09時30分

場所：金沢工業大学扇が丘キャンパス1号館 110教室

本研修につきまして、21日(火)開講式当日の取材・報道方、よろしくお願いたします。

(*)日系社会研修

本事業は、わが国の地方自治体(都道府県及び市町村)、大学、公益法人、NGO、企業等の団体より日系社会研修員の受入にかかる提案を受け、JICAが、これらの団体に日系社会研修員受入の実施を委託して行う国民参加型事業です。日系社会研修事業は、中南米地域の日系社会と日本の連携に主導的な役割を果たす方(日系人に限定されない)への技術協力を通じ、日系社会の発展と移住先国の国造りに貢献するとともに、国民に幅広く、これらの事業への参加を促進し、助長することを目的としています。

当機構は、SDGs(持続可能な開発目標)の目標達成のために力を入れて取り組んでおり、本案件は、SDGs 目標3の“すべての人に健康と福祉を”を主な目標に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



以上

【本件に関する問い合わせ先】

(独) 国際協力機構北陸センター (JICA北陸) 担当: 藤井
TEL 076-233-5931 e-mail: Fujii.satoshi@jica.go.jp